

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会総会 2008



2008（平成20）年10月2日-3日 群馬県安中市
磯部温泉高台旅館・碓氷峠鉄道文化むら

はじめに

日本鉄道保存協会が設立されて、今年で早くも18年となりました。

この間、微力ながらも多くの皆さまのご支援とご協力を頂きながら活動を続けてまいりました。加盟団体はようやく30に達し、より一層の広がりをみせて来ていることは喜びにたえません。

最近では、歴史的車両の動態保存や静態保存が全国各地で推進され、広く一般の皆さんの関心を集めつつあります。また、歴史的車両だけでなく、駅舎・橋梁・隧道などの鉄道遺産を地域活性化の核として保存・活用する事例も多く見られるようになりました。これらは我が国の近代化遺産として誇るべきものであり、私たちの大切な宝物として後世に伝え残していきたいものです。

いま、鉄道ブームの時代と言われ、多くの日本人が鉄道に対する関心を深めています。世界的な燃料高騰の中で、鉄道見直しの機運が高まり、国の政策も鉄道を中心とする公共交通の再評価に向かっていきます。これらは私たちの活動にとってありがたい追い風です。

一方で、私たちの活動は大きな困難にも直面しています。多くの保存団体に共通する財政難の問題は言うまでもありませんが、そのほかにも最近の傾向として、意気込み高く始めた保存事業が時の経過とともに勢いを失う事例や、市町村の合併に伴って管理運営の困難を来している事例も見られます。この鉄道保存協会自体も、組織と言うにはあまりにも脆弱な存在であり、体質強化の必要に迫られています。これらの難問をどのようにして克服していくか、これからの保存運動の試練と言えましょう。

この総会は、正会員たる加盟団体と賛助会員が一同に会し、鉄道保存運動に関心を持たれる多くの方々をオブザーバーとしてお招きして、お互いの経験を語り知識と意見を交換する貴重な機会です。本年は来賓として国土交通省の地域鉄道対策室長と英国鉄道保存協会の会長をお招きし、講演をして頂きます。その後の事例報告と討論では、参加者の皆さんの活発な発言を通じて、全員が明日の保存運動のための知恵と勇気を見いだせることを期待いたします。

2008年10月

日本鉄道保存協会代表幹事団体

(財)交通文化振興財団理事長 菅 建彦

日本鉄道保存協会 2008（平成 20）年度総会

[日時] 2008（平成 20）年 10 月 2 日（木） 13 時 15 分から 18 時まで
[場所] 群馬県安中市磯部温泉 高台旅館

総合司会 名取紀之

1315 挨拶 代表幹事団体 交通文化振興財団理事長 菅建彦
来賓挨拶 安中市長 岡田義弘 氏

1330 出席者紹介

1340 総会（二階宴会場「月ごよみ・花ごよみ」）

1) 議長選任

2) 新入会員承認

陸別町商工会、貨物鉄道博物館、NPO 市民文化財ネットワーク鳥取

3) 平成 19 年度事業報告 資料 1

4) 平成 19 年度収支報告 資料 2

5) 平成 19 年度会計監査報告 資料 3

6) 平成 20 年度事業計画（案） 資料 4

7) 平成 20 年度収支予算（案） 資料 5

8) 規約改正について 資料 6

9) 次回開催地について

（休憩）

1410 来賓講演（二階宴会場「月ごよみ・花ごよみ」）

講演 1 「地域鉄道の現状と活性化に向けた取組み」

国土交通省鉄道局地域鉄道対策室長・上住（うえずみ）まり 氏

講演 2 「世界の保存鉄道・観光鉄道」

英国保存鉄道協会会長・欧州保存鉄道連合議長 D・モーガン氏

（休憩）

1600 事例報告・討論（二階宴会場「月ごよみ・花ごよみ」）

開催地報告 「碓氷峠鉄道文化むらの活動と地域社会への貢献」
財団法人碓氷峠交流記念財団理事長 白石敏行

討論 1 鉄道遺産の保存活用と地域活性化

事例報告： 陸別町商工会・（有）銀河の森 山本周二
NPO 足尾歴史館 岡本憲之
加悦鉄道保存会理事 篠崎隆
コーディネータ： 顧問 米山淳一

討論 2 技術伝承をめぐる諸問題

事例報告： 日本工業大学講師 丹治明
大井川鉄道運輸部次長 萬豆明夫
コーディネータ： 顧問 堤一郎

（休憩）

1900 懇親会（一階大広間「月の間」）

見学会（碓氷峠鉄道文化むら）

集合 10月3日（金）8時30分
出発 8時45分 貸し切りバス

見学順序 碓氷第三橋梁を見学後、旧信越本線の廃線敷を碓氷湖まで歩きますが、希望者はバスで碓氷湖まで戻ることもできます。
碓氷湖からは全員バスで碓氷鉄道文化むら（旧横川機関区）に行き、施設内を見学後「シェルパくん」で旧丸山変電所経由、「峠の湯」まで登り、昼食をとります。
昼食後解散しますが、希望者は残って自由に見学されて結構です。すぐに帰る人は「シェルパくん」で文化むらに戻ります。横川駅まで徒歩5分。

第三碓氷橋梁・碓氷湖間、碓氷湖・文化むら間、文化むら・峠の湯間、いずれも相当の距離がありますから、バスや「シェルパくん」に乗り遅れると移動に難儀します。ご注意ください。

日本鉄道保存協会2008年度総会出席者名簿・その1

所属等	役職等	氏名	総会	講演	懇親	宿泊	見学
来賓 国土交通省鉄道局	地域鉄道対策室長	上住 まり	○	○			
来賓 英国鉄道保存協会 (Heritage Railway Association)	会長	デビッド・モーガン	○	○	○	○	○
来賓 安中市	市長	岡田 義弘	○	○	○		
顧問	東京学芸大学名誉教授	青木 栄一	○	○	○	○	○
顧問	英文学者	小池 滋	(欠席)				
顧問	(株)鉄道ジャーナル社 社長	竹島 紀元	(欠席)				
顧問	産業考古学会	堤 一郎	○	○	○	○	○
顧問	レイル・マガジン編集長	名取 紀之	○	○	○	○	○
顧問	地域遺産プロデューサー	米山 淳一	○	○	○	○	○
遠軽町(旧丸瀬布町)	(欠席)						
三笠市	(欠席)						
北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)	(欠席)						
ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会	(欠席)						
三菱大夕張鉄道保存会	(欠席)						
陸別町商工会	(有)銀河の森	山本 周二	○	○	○	○	○
磐越西線SL運行推進協議会	(欠席)						
真岡線SL運行協議会	事務局長補佐・兼総務課長	中山 文行	○	○	○	○	○
碓氷峠鉄道文化むら(財団法人 碓氷峠交流記念財団)	理事長	白石 敏行	○	○	○		○
碓氷峠鉄道文化むら(財団法人 碓氷峠交流記念財団)	常務理事	大野 恵司	○	○	○		○
碓氷峠鉄道文化むら(財団法人 碓氷峠交流記念財団)	館長	高橋 寛	○	○	○	○	○
日本工業大学	講師・工業技術博物館学芸員	丹治 明	○	○	○	○	○
西武鉄道株式会社	(欠席)						
財団法人東日本鉄道文化財団	企画部 部長	阿部 好廣	○	○	○	○	○
財団法人東日本鉄道文化財団	学芸部 部長	安田 陽一	○	○	○	○	○
東武博物館(財団法人 東武鉄道共助会)	館長	花上 嘉成	○	○	○	○	○
財団法人交通文化振興財団	理事長	菅 建彦	○	○	○	○	○
財団法人日本ナショナルトラスト	(欠席)						
上松町	商工観光係 主査	織田 浩市	○	○	○	○	○
虹の郷(財団法人伊豆市振興公社)	(欠席)						
大井川鐵道株式会社	運輸部次長	萬豆 明夫	○	○	○	○	○
東海旅客鉄道株式会社(JR東海)	車両部管理課係長	木村 哲雄	○	○	○	○	○
博物館明治村(財団法人明治村)	スーパーバイザー	近藤 幹生	○	○	○	○	○
西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)	広報部	伊藤 秀真	○	○	○	○	○
貨物鉄道博物館	館長	清水 武	○	○	○	○	○
貨物鉄道博物館	理事	北川 潤	○	○			
加悦SL広場(加悦興産株式会社)	(欠席)						
NPO加悦鐵道保存会	理事	篠崎 隆	○	○	○	○	○
ふるさと鐵道保存協会	理事長	手嶋 康人	○	○	○	○	○
ふるさと鐵道保存協会	鐵道郵便WG・リーダー	中井 健二	○	○	○	○	○
NPO市民文化財ネットワーク鳥取	(欠席)						
馬路村・やなせ森林鐵道運営委員会	(欠席)						
山口線SL運行対策協議会	(欠席)						
九州旅客鐵道株式会社(JR九州)	(欠席)						
屋久島町	(欠席)						

日本鉄道保存協会2008年度総会出席者名簿・その2

所属等	役職等	氏名	総会	講演	懇親	宿泊	見学
賛助会員	株式会社 ネコ・パブリッシング	名取 紀之	(顧問欄に記載)				
賛助会員	株式会社 鉄道ジャーナル社	(欠席)					
賛助会員	日本鉄道写真作家協会	山崎 友也	○	○	○	○	
賛助会員	北陸重機工業株式会社	霜鳥 勝徳	○	○			
賛助会員	北陸重機工業株式会社	岩橋 正人	○	○	○	○	○
賛助会員	株式会社JTBパブリッシング	河合 桃子	○	○	○	○	○
賛助会員	けいてつ協会	岡本 憲之	○	○	○	○	○
賛助会員	有限会社 鉄道フォーラム	(欠席)					
賛助会員	レイルウェイ・ライター	種村 直樹	○	○	○	○	○
賛助会員	水野 弥彦(交通道德協会「明るい旅」編集長)	(欠席)					
オブザーバー	NPOひがし大雪アーチ橋友の会	角田 久和	○	○			
オブザーバー	大畑線キハ85動態保存会	嶋 望海	○	○	○		
オブザーバー	大畑線キハ85動態保存会	佐藤 徳代	○	○	○	○	
オブザーバー	南部縦貫レールバス愛好会	平蔵 伸洋	○	○	○	○	○
オブザーバー	南部縦貫レールバス愛好会	野平 茂雄	○	○	○	○	○
オブザーバー	よみがえれボールドウィン実行委員会	木村 一博	○	○	○	○	○
オブザーバー	よみがえれボールドウィン実行委員会	丸山 龍一	○	○	○	○	○
オブザーバー	株式会社豊島園社長(西武鉄道)	西尾 恵介	○	○	○	○	
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	田中 光一	○	○			○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	橋 秀幸	○	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	倉繁 聡	○	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	谷口 直人	○	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	長野 芳光	○	○	○	○	○
オブザーバー	著述業	白川 淳	○	○	○	○	○
オブザーバー	のりもの愛好家	岩野 弘一	○	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人横浜市ふるさと歴史財団	可知 博道	○	○	○	○	○
オブザーバー	羅須地人鉄道協会	相場 二郎	○	○	○	○	○
オブザーバー	羅須地人鉄道協会	高橋 卓郎	○	○	○	○	○
オブザーバー	TINHAT/FEDECRAIL	小田 恭一	○	○	○	○	○
オブザーバー	銚田駅保存会	川津 重夫	○	○	○	○	○
オブザーバー	片上鉄道保存会	森岡 誠治	○	○	○	○	○
オブザーバー	片上鉄道保存会	森岡 直子	○	○	○	○	○
オブザーバー	鉄道愛好家	根市 和典	○	○	○	○	○
事務局	財団法人交通文化振興財団	五十嵐 健一	○	○	○	○	○

日本鉄道保存協会加盟団体名簿 1

- 01 遠軽町（旧丸瀬布町） 町長 北川健司
 099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 115-2
 遠軽町役場丸瀬布総合支所産業課観光係 係長 小山信芳
 Tel 01584 7 2213 Fax 01584 7 2128
- 02 三笠市 市長 小林和男
 068-2192 三笠市幸町 2 三笠市役所経済建設部商工観光課商工観光係
 Tel 01267 2 3997 Fax 01267 2 2145 主事 力弓晃継
- 03 北海道旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 中島 尚俊
 060-8644 札幌市中央区北 11 条西 15 Tel 011 700 5785 Fax 011 700 5786
 鉄道事業本部運輸部管理課長 斉藤幹也 運輸部運用車両課副課長 内藤正浩
- 04 ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会 会長 加藤 勉
 054-0364 北海道勇払郡穂別町富内 Tel 01454 6 6212 Fax 01454 6 6217
 事務局長 服部啓三
- 05 三菱大夕張鉄道保存会 会長 奥山道紀
 069-0855 江別市大麻宮町 4-6-502 Tel 011 387 4783 事務局 今井一郎
- 06 陸別町商工会 副会長 山本周二
 089-4300 足寄郡陸別町字陸別原野基線 69-1
 Tel 0156 27 3161 Fax 0156 27 2752
- 07 磐越西線 SL 運行推進協議会 会長（真岡市長）小野隆市
 965-0816 福島県会津若松市南千石町 6-5
 Tel 0242 27 1212 Fax 0242 27 1207 総合事務センター長 山田直樹
- 08 真岡線 SL 運行協議会 会長 福田武隼
 321-4305 栃木県真岡市荒町 5203
 Tel 0285 82 9151 Fax 0285 82 9152
 事務局長 板口敏一 局長補佐ふるさと振興係 中山文行
- 09 碓氷峠交流記念財団「碓氷峠鉄道文化むら」 理事長 白石敏行
 379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16
 Tel 027 380 4163 Fax 027 380 4111 館長 高橋 寛
- 10 日本工業大学 学長 柳澤 章
 345-8501 埼玉県埼玉郡宮代町学園台 4-1 Tel 0480 34 4111
 工業技術博物館 Tel 0480 33 7545 Fax 0480 33 7570
 館長 松野建一 講師・学芸員 丹治 明

日本鉄道保存協会加盟団体名簿 2

- 11 西武鉄道株式会社
359-8520 所沢市くすのき台 1-11-1 Tel 04 2926 2283 Fax 04 2926 2239
代表取締役社長 後藤高志
車両部部长付き 平岡清次
- 12 財団法人東日本鉄道文化財団
151-8578 渋谷区代々木 2-2-2 JR 東日本本社ビル 11 階
Tel 03 5334 0623 Fax 03 5334 0624
理事長 大塚陸毅
企画部部长 高橋政弘
- 13 東武博物館（財団法人東武鉄道共助会）
131-0032 東京都墨田区東向島 4-28-16
Tel 03 3614 8811 Fax 03 3614 8814
館長 花上嘉成
事務局 田口隆
- 14 財団法人交通文化振興財団
101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-25
Tel 03 3251 8481 Fax 03 3251 8489
理事長 菅建彦
学芸員 五十嵐健一
- 15 財団法人日本ナショナルトラスト
113-0024 東京都文京区西片 2-18-16
Tel 03 6303 1110 Fax 03 3818 1165
会長 大塚陸毅
事業課 池之上真一
- 16 上松町
399-5603 長野県木曾郡上松町駅前通り 2-13 上松町役場
Tel 0264 52 2001 Fax 0264 52 1038
町長 田上正男
産業観光課長 茂澄統一
- 17 虹の郷（財団法人伊豆市振興公社）
410-2416 静岡県伊豆市修善寺 4279-3
Tel 0558 72 7222 Fax 0558 72 7133
理事長 西島滯徳
園内交通課 西島史年
- 18 大井川鐵道株式会社
428-8503 島田市金谷 1112-2 Tel 0547 45 4111 Fax 0547 45 4115
代表取締役社長 伊藤優
運輸部次長 萬豆明夫
- 19 東海旅客鐵道株式会社
450-8520 名古屋市中村区名駅 1-3-4 Tel 052 564 2461 Fax 052 564 2462
代表取締役社長 松本正之
車両部管理課長 伊藤将利 課長代理 神田英樹
- 20 博物館明治村（財団法人明治村）
484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地 Tel 0568 67 0314 Fax 0568 67 0358
館長 飯田喜四郎
スーパーバイザー 近藤幹生

日本鉄道保存協会加盟団体名簿 3

- 21 西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 山崎正夫
530-8341 大阪府大阪市北区芝田 2-4-24 Tel 06 6375 8513 Fax 06 6376 6053
広報部 奥山喜文
- 22 貨物鉄道博物館 館長 清水武
510-8014 四日市市富田 3-22-83 三岐鉄道本社内 Tel 059 364 2141
理事 北川潤
- 23 加悦 SL 広場 (カヤ興産株式会社) 代表取締役 須藤洋右
629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝 941-2
Tel 0772 42 3186 Fax 0772 43 0080 管理部 課長 今田哲男
- 24 NPO 加悦鐵道保存会 理事長 森本寿
629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝 941-2 加悦 SL 広場内
Tel 0772 42 3186 Fax 0772 43 0080
- 25 ふるさと鐵道保存協会 理事長 手嶋康人
812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-11-12
Tel 080 6412 1666 Fax 092 414 5088
- 26 NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長 渡辺一正
680-0022 鳥取市西町 1-106 Tel 0857 26 1151 Fax 0857 22 4103
事務局長 太田縁
- 27 馬路村 村長 上治堂司
781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 馬路村役場魚梁瀬支所
やなせ森林鐵道運営委員会 Tel 08874 3 2211 Fax 08874 3 2208
魚梁瀬支所長 五藤寿史
- 28 山口線 SL 運行対策協議会 会長 金澤卓雄
753-8501 山口市滝町 1-1 山口県地域振興部観光交流課
Tel 083 933 3170 Fax 083 933 3179 観光振興班主事 山縣智子
- 29 九州旅客鐵道株式会社 代表取締役社長 石原進
812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21
Tel 092 474 2541 Fax 092 474 3898 広報室長 江越善一郎
- 30 屋久島町 町長 日高十七郎
891-4207 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 469-45
Tel 0997 43 5900 Fax 0997 43 5905 企画調整課地域活性化対策係長 泊竜二

<p>団体名</p>	<p>遠軽町</p>	<p>連絡先 〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 遠軽町丸瀬布総合支所産業課</p>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p><森林鉄道雨宮21号></p> <p>雨宮号は昭和3年、東京の雨宮製作所で製造された機関車で3台が部品のまま輸送され丸瀬布で組み立てられました。その後、雨宮製作所では機関車の製造を中止したため、道内に導入された雨宮号はこの3台だけとなっています。</p> <p>機関車には道庁が導入した順に番号が付けられ、丸瀬布の雨宮号は18・19・20号となりました。</p> <p>雨宮19・20号は昭和3年9月に、18号は昭和4年5月に完成し、19号は昭和4年5月6日、20号は同年6月16日、18号は昭和5年6月11日に輸送が開始されましたが、18号は13日稼働しただけで配置変えとなりました。</p> <p>しかし、経済性や山火事防止の観点から、丸瀬布にも昭和26年に2台のディーゼル機関車が導入され、蒸気機関車は昭和33年12月末日までに配車とすることになりました。</p> <p>ちなみに、機関車の番号は昭和24年度から営林局ごとの番号に改められ、雨宮19号は21号となりました。</p> <p>この間、雨宮21号は昭和32年に危うくスクラップを免れ、昭和36年5月13日「サヨナラ運転」と格納式が行われ、営林署で保存の道が取られました。</p> <p>その後、雨宮21号は昭和51年に営林局から町へ譲渡され札幌で復元整備し昭和54年5月15日いこいの森に新築された機関庫に格納され、翌16日、22年ぶりに「ぼーっ」という汽笛を響かせ試運転が行われました。その間に客車や貨車を購入し、昭和56年には8の字の一周軌道も完成し、昭和57年5月1日より「森林鉄道の走る緑と溪谷のマチ」として動態保存されています。</p> <p><近況報告> <雨宮生誕80周年記念イベント> 雨宮号生誕80周年を記念しイベントを開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日 平成20年9月13日 ● 場 所 遠軽町丸瀬布上武利 森林公園いこいの森 ● イベント内容 写真展・餅つき・雨宮号に関するクイズ・記念乗車券の発売等 </div> </div>		
<p>1. 運 行 日 平成20年4月26日から10月19日までの土・日・祝日 ※ゴールデンウィーク・夏休み期間は毎日運行</p> <p>2. 運行時間 午前10時から30分毎に午後4時30分まで(昼1時間休み)</p> <p>3. 運行区間 遠軽町丸瀬布上武利 森林公園いこいの森園内一周約2km</p> <p>4. 乗車料金 大人 500円 小人 250円</p>		

団体名	三笠市	〒068-2192 三笠市幸町2番地 三笠市役所商工観光課 TEL 01267-2-3997 FAX 01267-2-2145 URL http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/
施設名	三笠鉄道村	〒068-2145 三笠市幌内町2丁目 TEL 01267-3-1123 FAX 01267-2-6965 URL http://www.s-304.com/

三笠鉄道記念館には、北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な鉄道関連品を展示しています。動体保存されている蒸気機関車 S-304 号は、1939 年に日本製鉄輪西製鉄所（後の新日本製鐵室蘭製作所）向けに作られた産業用機関車です。

■ S L 運行（乗車 1 回 200 円）

運行日……4月16日から10月15日までの土・日・祝日

※7月下旬～8月中旬までの夏休み期間は毎日運行

土曜……12:00始発～16:00発最終

日曜・祝日…10:00始発～16:00発最終

※30分毎の発車です。12:30発の便のみありません。

■ S L 機関士運転体験

三笠鉄道村では、本物の蒸気機関車 S-304 号の運転体験ができます。

村内の幌内鉄道 350m を 1 往復。3 分足らずのわずかな時間ですが、気分は S L 機関士そのものです。九州や関東からの参加者もあり、なかには 50 回以上も運転しているベテラン機関士の方もいます。（詳しくは下記の三笠鉄道村ホームページをご覧ください。）

■ ホームページでの P R

平成 18 年度にホームページを開設し、施設紹介等の掲載はもちろんのこと、館長のブログやイベント情報など随時更新しています。また、S L 機関士運転体験の参加申し込みなどもホームページから可能です。

HPアドレス→<http://www.s-304.com/>

蒸気機関車 S-304 号



三笠鉄道村公式 HP



携帯用サイトのサイトではありません
PC用の画面でご覧ください→



<p>団体名</p>	<p>北海道旅客鉄道株式会社</p>	<p>鉄道事業本部 運輸部 運用車両課 〒060-8644 北海道札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 TEL 011-700-5785 FAX 011-700-5786</p>
------------	--------------------	--

「 33年ぶりに復活！SL常紋号 」

弊社では、平成 11 年に C11 形蒸気機関車 2 両(C11-171、C11-207)を復元して以来、年間を通して北海道の大自然や文化・歴史を堪能して頂ける各種観光列車、及びイベント列車として運行しております。

平成 20 年度は、要望が多かった石北線・北見～白滝間において「SL 常紋号(C11-171)」を 33 年ぶりに復活させ、その雄姿を地域の人々や全国各地から集まった多くの鉄道ファンに披露し、大きな声援を浴びました。また、昨年に続き、石勝線・新夕張～夕張間において「SL 夕張応援号(C11-207)」の運行を行い、財政再建団体となった夕張市への支援の一環として活性化に役立てております。

北海道という過酷な気象条件下での安全運行に向け、運転からメンテナンスに至るまで細心の注意を払っております。今年は 3 月に、保守を受け持つ区所・工場等が釧路に集まりメンテナンス検討会を開催し、技術の継承と共有化を図りました。また、C11-171 号については 7 月から全般検査を行い、21 年 1 月の検査終了時(予定)は、復元時にも劣らない装いとなります。

今後多くのお客様に満足していただき、喜んでいただけるよう継続して取り組んで参ります。



瀬戸瀬を走る「SL 常紋号」

平成 20 年度 SL 列車運転計画

- SL 函館大沼号 函館本線(函館～森)
4/26～5/6、7/19～8/17 の土、日、祝
- SL 富良野・美瑛/ロッコ号
富良野線(旭川～富良野)
6/7～8、9/13、14
- SL 常紋号 石北線(北見～白滝)
6/28～29

- SL 夕張応援号 石勝線(夕張～新夕張)
9/6～7
- SL ニセコ号 函館本線(札幌～蘭越)
9/20～11/3 の土、日、祝
- SL クリスマス in 小樽号
函館本線(札幌～小樽)
12/12～21 の金、土、日、12/23～25
- SL 冬の湿原号 釧網本線(釧路～標茶)
1/24、25、31～3/8



留辺蘂を走る「SL 常紋号」

運転日は変更となる場合があります

団体名	ほべつ銀河鉄道の 里づくり委員会	〒054-0364 北海道勇払郡穂別町字富内 高橋方 Tel.01454-6-6212
-----	---------------------	---

〔委員会の主な活動〕

旧駅舎・客車 2 両・鉄路延長 1 キロメートル・宮沢賢治が設計した「涙ぐむ眼」花壇・公園 10,000 m²などの保存、維持管理が主な活動となっている。



「涙ぐむ眼」

町おこしの経緯

昭和 61 年の廃線によって地域の過疎化が一層深刻になった。歴史を思わせる駅舎・線路・構内をなんとか保存することにより町おこしができないか、地域の数人が組織（富内

再開発協議会）を立ち上げた。幸いにして横山村長が宮沢賢治の思想に感銘し、理想郷づくりに生命をかけて取り組んでいた。富内地域には、賢治観音像や鉄道もあり、条件が整っていたことから、銀河鉄道の里づくりと称して町おこしの活動がはじまった。

今までの活動経過・その他

- ・ 宮沢賢治設計の涙ぐむ眼花壇の造成によって地域住民参加（地域・学校・精薄授産施設・老人クラブ）による活動が始まる。年 2 回植栽 1 2 0 名参加
- ・ 会員が中心となって駅舎周辺の維持管理（線路の草刈り、駅舎の掃除、客車の清掃など）をおこなう。
- ・ 毎年 9 月 14 日に開催するイベント（銀河鉄道の夕べ）。全国から鉄道愛好家が集まる。
- ・ 町内外の各種イベントに積極的に参加し、交流を深める。
- ・ 維持管理費については、町より若干の補助金の交付を受けている。
- ・ 委員会のメンバーは、富内地域の 4 自治会の役員や主だった団体の関係者等で構成されている。

公園化によつての周辺整備が 2000 年に完成

廃線後、従来の形のまま維持管理を進めてきたが、毎年訪れる人たちが増え、また周辺の整備も遅れ、建物の老朽化も進んだことから町に対して、整備改築の要請をしていた。財政的に厳しい事情からなかなか予算化されずに経過していたが、平成 12 年度に国・道・町の支援を受け、立派な公園が完成した。地域住民が参加し、手づくりによる公園ということで、全国から注目されている。



2001 年よみがえれ汽笛キャンペーンの展開

廃線 15 周年目の記念行事として、2001 年 9 月 14 日にぼっちゃん列車を走らせた。

また、来年 2006 年は廃線 20 周年となるのでイベントの開催を計画している。

「坊ちゃん列車」

三菱大夕張鉄道保存会について

三菱大夕張鉄道とは

三菱大夕張鉄道は明治44(1911)年に大夕張炭坑の専用鉄道として清水沢～二股間が開通、その後炭坑の北部移転に伴い、南大夕張～通洞間が延長されたが昭和14(1939)年には地方鉄道に改組され、大夕張炭坑の他、沿線の北菱鹿島炭坑、北夕炭坑等の石炭輸送、森鉄鉄道で運び出された本材輸送など、沿線産業の開発に大きな貢献をした。

また、道路が未整備であった昭和30年代後半までは、地域住民の貴重な足でもあり、南大夕張炭坑の合理化で鉄道が廃止されるまで残った「石炭ストーブ」列車は夕張の冬の風物詩でもあり住民等に親しまれていた。



【略年表】

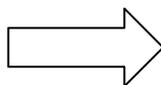
- ・明治44(1911)年6月1日 大夕張炭坑(株)専用鉄道開通。清水沢～二股(後の南大夕張)を鉄道院の運転管理で運行
- ・大正5(1916)年2月17日 大夕張炭坑(株)を三菱合資会社が買収
- ・大正7(1918)年4月10日 三菱合資会社の鉱山部が独立し三菱鉱業(株)設立
- ・昭和4(1929)年6月1日 炭坑の北部移転に伴い南大夕張～通洞(後の大夕張炭山)間延長
自営運転を開始する
- ・昭和14(1939)年4月20日 地方鉄道に改組。新清水沢～大夕張炭山間16.8kmを三菱鉱業株式会社線(その後、炭鉱の変遷と共に三菱大夕張炭鉱会社線→三菱石炭鉱業会社線と変化)として営業開始
- ・昭和22(1947)年1月16日 国鉄清水沢駅に乗り入れ、清水沢～大夕張炭山間17.2kmとなる
- ・昭和45(1970)年8月1日 南大夕張炭坑営業出炭開始
- ・昭和48(1973)年12月15日 大夕張炭坑閉山により南大夕張～大夕張炭山間廃止
- ・昭和62(1987)年7月21日 南大夕張炭坑の合理化で鉄道廃止

三菱大夕張鉄道保存会のあゆみ

- ・平成2(1990)年3月 南大夕張炭坑閉山、旧南大夕張駅跡の車両(客車・貨車など)を夕張市へ譲渡
- ・平成11(1999)年3月 客車1両が積雪により転覆
- ・平成11(1999)年7月 有志で三菱大夕張鉄道保存会発足。夕張市へ保存を求めると共に修復活動開始
- ・平成11(1999)年12月 夕張市により客車の転覆復旧
- ・平成13(2001)年10月 三菱大夕張鉄道の車両を含む空知管内の炭鉱遺産が「北海道遺産」として認定
- ・平成17(2005)年10月 夕張市により、シューパロダム周辺整備計画の一環として「南大夕張列車公園」整備計画発表
- ・平成18(2006)年6月 夕張市の財政破綻表面化。公園計画、事業見直しにより凍結へ
- ・平成19(2007)年11月 旧南大夕張駅と保存車両が経済産業省により、近代化産業遺産として認定

今後の課題

- ・夕張市の財政再建団体への移行
- ・地域住民の高齢化(地域の将来像が描けない)
- ・地域の人口減少



1. 炭鉱・鉄道などの地域資源活用は夕張市の再建には今後も必用
2. 開発局(国)、北海道の支援が不可欠
3. NPO法人化して公益性、継続性の確保
4. 外部の支援確保



〒069-0855 江別市大麻宮町4-6-502 今井方
三菱大夕張鉄道保存会事務局
現地連絡先 068-0547 夕張市南部新光町55 高橋商店方
TEL 0123-55-2604

http://www.geocities.jp/ooyubari_rps/index.html

団体名	ふるさと銀河線 りくべつ鉄道	〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 6 9 番地 1 Tel : 0156-27-2244 Fax : 0156-27-2791 URL : http://www.shibare.or.jp/tetsudo/tetsudotop.htm
-----	-------------------	--

ふるさと銀河線りくべつ鉄道は北海道十勝支庁北東部に位置します。
 明治40年に池田～網走に至る鉄道として工事が開始され明治43年開業、大正元年に全線開通、「網走本線」として運行を始め昭和7年「石北線」の開通後、昭和36年池田～北見間は「池北線」と名称を変え幹線からローカル線となりました。
 池北線は昭和62年の国鉄分割民営化の際、JR北海道に路線が引き継がれ2年ほど運行された後、平成元年に北海道と沿線1市6町が出資する第3セクター鉄道「ちほく高原鉄道ふるさと銀河線」として新たなスタートを切りました。開業後、ワンマン運転・SL銀河号・銀河鉄道999ラッピング列車等集客に努めて来ましたが平成18年4月20日開業以来95年の歴史に幕を閉じました。しかし、陸別町では貴重な鉄道遺産を後世に残すべく2年間の準備期間を経て平成20年4月20日「りくべつ鉄道」として開業いたしました。

営業期間：4月下旬～10月下旬
 営業時間：9：00～16：30

【乗車体験】
 CR75-2（銀河鉄道999ラッピング列車）を使用し運行しています。
 料金：中学生以上 300円・小学生 200円
 小学生未満無料（保護者同伴）
 運行時間：10:00・10:30・11:00・11:30・12:00・12:30・13:00・13:30・14:00・14:30・15:00・15:30・16:00 計13本
 乗車時間：500メートル区間を2往復約10分程度の運行



開業記念式典テープカット

【トロッコ乗車体験】
 トロッコは足こぎ式を利用し250メートル区間を2往復程度
 料金：中学生以上 300円・小学生 200円
 小学生未満無料（保護者同伴）



運転体験

【気動車運転体験】
 実際に動いていたCR70・75型の車両を使い
 運転士の指導の下運転していただくコースになります。
 <Sコース>
 女性の方でも簡単に運転が出来ます。
 料金：2,000円 対象者：中学生以上
 体験時間：約30分（説明・運転）
 運行時間：9:30・10:00・10:30・11:00・11:30・13:00・13:30・14:00・14:30・15:00・15:30・16:00 計12本



トロッコ乗車体験

<Lコース>
 1週間前までの完全予約制
 簡易な講習で体験していただけます!!
 予約方法：Eメール又は電話予約
 料金：20,000円 対象者：18歳以上
 体験時間：約80分
 運行時間：9:30・11:00・13:00・14:30 計4本

【運行日】
 <乗車体験・トロッコ乗車体験・運転体験Sコース>
 通常営業日：第2・4土日
 特別営業日：GW（4/26～5/6）
 夏休み期間中（7/21～8/31）
 お盆休み（8/13・14・15）



保存車両CR-70型

<Lコース>
 上記以外の日

平成20年度 磐越西線 SL 運行推進協議会事業報告

1 共同キャンペーン事業

開催日・場所	名 称	参加者数	内 容
7月26日(日) 会津若松駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・ポストカード配布
7月26日(日) 河東駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・ポストカード配布
7月26日(日) 磐梯町駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・ポストカード配布
7月26日(日) 猪苗代駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・ポストカード配布
7月26日(日) 磐梯熱海駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・ポストカード配布
7月27日(日) 会津若松駅	SL 郡山会津路号 到着イベント	名	・ 振る舞い (地元産りんごジュース) ・ " (ソース串かつ) ・ ポストカード配布 ・ 鶴ヶ城太鼓の披露 ・ おしぼり配布
8月24日(日) 会津若松駅	SL 郡山会津路号 到着イベント	名	・おしぼり配布
9月27日(土) 磐梯町駅	SL 郡山会津路号 出発イベント	名	・振る舞い (生そば) ・磐梯明神太鼓の披露
9月28日(日) 会津若松駅	SL 郡山会津路号 到着イベント	名	・パンフレット配布 ・ 振る舞い (地元産りんごジュース) ・ " (ソース串かつ) ・ 鶴ヶ城太鼓の披露 ・ おしぼり配布
9月28日(日) 郡山駅	SL 郡山会津路号 到着イベント	名	・物産品の配布(豆だるま) ・銘菓の配布(福の鳥他) ・ミス郡山による出迎え

2 沿線ガイドパンフレット作成及び広報事業

作成日等	部数等	内 容	配 布 先
平成20年度	30,000部	運行予定、沿線観光案内リーフレット作成	当協議会会員団体等

3 諸会議

開催日・場所	会 議 名	内 容	出席者数
20年5月1日 郡山商工会議所・当所	会計監査	平成19年度会計監査	3名
5月20日 阿賀町役場 会議室	磐越西線SL定期運行 推進協議会・事務担 当者会議	①総会の日程等について ②総会に上程する議案について ③事業推進について	19名
6月25日 会津若松商工会所 会議室	総会	①平成19年度事業報告書並びに収支決算に ついて ②役員の一部変更について ③平成20年度事業計画並びに収支予算につ いて	15名

<p>団体名</p>	<p>真岡線 SL 運行協議会</p>	<p>〒 321-4305 栃木県真岡市荒町 5203 番地 TEL 0285 (82) 9151 FAX 0285 (82) 9152</p>
------------	---------------------	--



【運行日】

11月：1日, 2日, 3日, 8日, 9日, 15日, 16日,
22日, 23日, 24日, 29日, 30日

12月：6日, 7日, 13日, 14日, 20日, 21日,
23日, 24日

1月：10日, 11日, 12日, 17日, 18日, 24日,
25日, 31日

【運行区間】 真岡鐵道 下館駅～茂木駅 (41.9km)

【運行時間】 下り) 下館駅 10:37 発→茂木駅 12:02 着
 上り) 茂木駅 14:28 発→下館駅 15:57 着

【運行車両】 SL C12形66号 C11形325号

PC オハ2両 オハフ1両

DL DE10 1535 1両

〔近況報告〕

◆ SL もおか夏休みイベント開催

真岡線では今年の夏休みも、[SLガイド体験]・[SL教室]を開催しました。

SL教室は、ボランティアのSL倶楽部会員が講師やスタッフになり、参加者にSLについて説明を行いました。事故もなく、安全に執り行うことが出来ました。SLガイド体験は、小学生を対象としたイベントで、車掌さんの仕事を手伝える催しで、SLに乗り合わせた乗客の皆様にも喜んで頂きました。どちらのイベントも、受付が始まるとすぐに定員が埋まる盛況ぶりでした。



▲運転室を見学するSL教室参加者



▲SLガイド体験者の記念撮影

◆ SL ハロウィン号今年も運行

今年のハロウィン号は10月25日(土)に運行を予定しています。車内をハロウィンの雰囲気に合わせて装飾を施し、また昨年同様、仮装コンテストを開催します。この催しは一般の方も参加できるもので、新聞やインターネットを使ってお知らせする予定です。

財団法人 碓氷峠交流記念財団 碓氷峠鉄道文化むら



住所／群馬県安中市松井田町横川 407-16

営業時間／3月～10月 9:00～17:00

11月～2月 9:00～16:30

(入園は閉園30分前まで)

トロッコ列車運行日／土曜・日曜・祝日・8月

トロッコ列車運行本数／1日5本



碓氷峠鉄道文化むらは群馬県の南西部に位置し、碓氷峠をはさんで長野県の軽井沢町と接しています。峠のシェルパEF63形機関車の基地であった旧横川機関区の跡地で、東京ドーム3.5個分のスペースがあります。

峠の鉄道の歴史は古く、明治の初めに東京～京都間を信越本線経由で結ぶと決定されましたが、明治19年にこの峠が難関のため東海道本線経由に変更された経緯のある所です。しかし、明治26年には日本で初のアプト式鉄道の採用で開通しましたが、11.2kmで標高差553mもあり、トンネル区間が多いため当時蒸気機関車の煙害防止のため、明治45年にこれまた日本初の電化区間となりました。

日本の鉄道技術の発展はこの峠から生まれたと言っても過言ではない線区でした。

時移り平成9年、長野オリンピックの開催を控えて、同年10月1日の長野新幹線の開業と同時に併行在来線として104年の歴史にピリオドを打ちました。旧機関区周辺は鉄道の街として発展してきましたが、廃止に伴う過疎化防止と地域経済の核として、群馬県・松井田町・JR東日本の協力により平成11年4月にオープンし、これまで全期を通じて黒字経営となっております。

信越本線横川～軽井沢間(通称、碓氷線)は廃線後早10年が経とうとしており、廃線間際の熱気も潮が引くように静かになってしまいましたが、この廃線敷を使って峠のトロッコ列車の運転を始めました。昨年度だけで全国から10万人ものお客様が乗車され、昔の景色を堪能されています。車掌の車内案内で、いつかこの本線を通って軽井沢まで運行できることを願っておりますのメッセージに、お客様が目を潤ませ万来の拍手をされるご期待に、必ずお応えする決意を新たにしています。

また日本で唯一のEF63形機関車の体験運転も約1,500人が受講を終わり、既にのべ18,000回の体験を楽しまれ、1人で500回の運転者も出現しております。

更に横川駅に留置しておりました、EF63の11・12号機(お召牽引機)を復活させ、運転体験機として活躍しております。国際観光都市軽井沢等へお出向きの際は、是非当地にもお立寄りいただけますよう、従業員一同心からお待ちしております。

■ 問合せ先 ■

財団法人碓氷峠交流記念財団 碓氷峠鉄道文化むら

TEL 027-380-4163

FAX 027-380-4111

<http://www.usuitouge.com>

bunkamura@usuitouge.com



団体名

**日本工業大学
工業技術博物館**

345-8501

埼玉県 南埼玉郡 宮代町 学園台 4-1

Tel. 0480-34-4111(大学代表)

Fax. 0480-33-7570(博物館直通)



写真1 製造されて116年、疾走する2109号蒸気機関車の勇姿

2008年の運転について

2109号蒸気機関車を、原則として8月と12月を除く毎月第3土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。キャンパス内で運転中の様子を写真1に示します。

このほかに学園祭等のイベント時にも有火運転を行っていますので、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

2109号蒸気機関車の近況

2109号蒸気機関車は、昨年度にボイラーの煙管172本とステー管16本を約1か月の期間を費やして交換し、労働基準監督署による変更検査を受け認可された。その交換作業の一部の様子を、写真2と写真3に紹介する。

今年度は、新しい煙管の状態、本館での操業状況に適した燃料(ピッチ練炭)の選定を行っている。目下、3種のピッチ練炭を候補に、「アスガラの残り具合」・「クリンカの発生状況」・「煙管の低温腐食具合」を実際に操業し、観察・比較している。



写真2 煙管・ステー管を挿入する様子



写真3 管端を拡管して鏡板に固定している様子

定期的な有火運転を実施して、さらに数多くの「2109号ファン」から暖かい声援を頂いている。

団体名 財団法人東日本鉄道文化財団
館名 鉄道博物館 (THE RAILWAY MUSEUM)



【所在地】〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 3-47

【TEL】 048-651-0088 FAX 048-651-0570

【URL】 <http://www.railway-museum.jp/>

【沿革】 2007年(平成19年)10月14日開館

【展示内容】

日本の鉄道がスタートした明治時代初期から現代まで鉄道の歴史や技術の変遷などを、御料車6両を含む鉄道車両35両の実物車両の展示を中心に紹介するヒストリーゾーン。鉄道の原理やしくみを模型などを活用しながら、深く理解できるラーニングゾーン。その他にも『模型鉄道ジオラマ』見学や『ミニ運転列車』、『運転シミュレータ』など体験型の施設も充実した博物館です。



ヒストリーゾーンでの転車台回転実演



鉄道模型ジオラマ



ミニ運転列車



SL シミュレータ

【活動状況】

○企画展

第1回特別企画展「新幹線の挑戦～より速く、より快適に～」10/14～2/25

第2回企画展「中央線ものがたり～去りゆくオレンジ色の電車と変わりゆく町」3/19～6/23

第1回コレクション展「ポスターにみる鉄道のあゆみ」6/4～9/15

○映像上映

上映内容	上映タイトル	期間
雪と鉄道映画会	「雪にいでむ」(1961年/30分) 「鉄道防雪陣」(昭和初期/15分)	3/1～17
春休み子ども映画会	まんが偉人物語「ワット」(11分) アニメ日本の昔ばなし「花さかじいさん」(11分)	3/20～4/7
企画展開催記念映画会	「いつか見た中野駅」(1995年/21分)	4/10～5/2
春の子ども映画会	まんが偉人物語「エジソン」(11分) まんが偉人物語「メンデル」(11分)	5/3～12
「C57 ばんえつ物語」映画会	「C57 ばんえつ物語～貴婦人を蘇らせた男たち～」(1999年/60分)	5/16～6/15
「最後のシエルパ EF63」映画会	「最後のシエルパ EF63～碓氷線最終章～」(1998年/60分)	6/18～7/14
夏休み子ども映画会	「たのしいでんしゃ新幹線大集合」(2008年/37分) 「はしれ! でんしゃ特急大行進 neo」(2007年/30分)	7/18～9/1
「昭和の鉄道」映画会	「つばめを動かす人々」(1954年/23分) 「ごちそう列車」(1953年/29分)	9/4～10/31

【下期の主な計画】

○企画展

第3回特別企画展「電車特急いまむかし～151系「こだま」から E259系「N 'EX」まで～」11/1～4/6

○開館1周年記念イベント

特別公開、Suica 企画等 10/8～26

団体名 財団法人 東武鉄道共助会

東武博物館

TOBU MUSEUM OF TRANSPORT & CULTURE

〒131-0032

東京都墨田区東向島4-28-16

TEL 03-3614-8811 FAX 03-3614-8814

URL <http://www.tobu.co.jp/museum>

※ リニューアル工事のため、平成21（2009）年1月から6月まで休館いたします。
平成21（2009）年7月リニューアルオープン予定です。

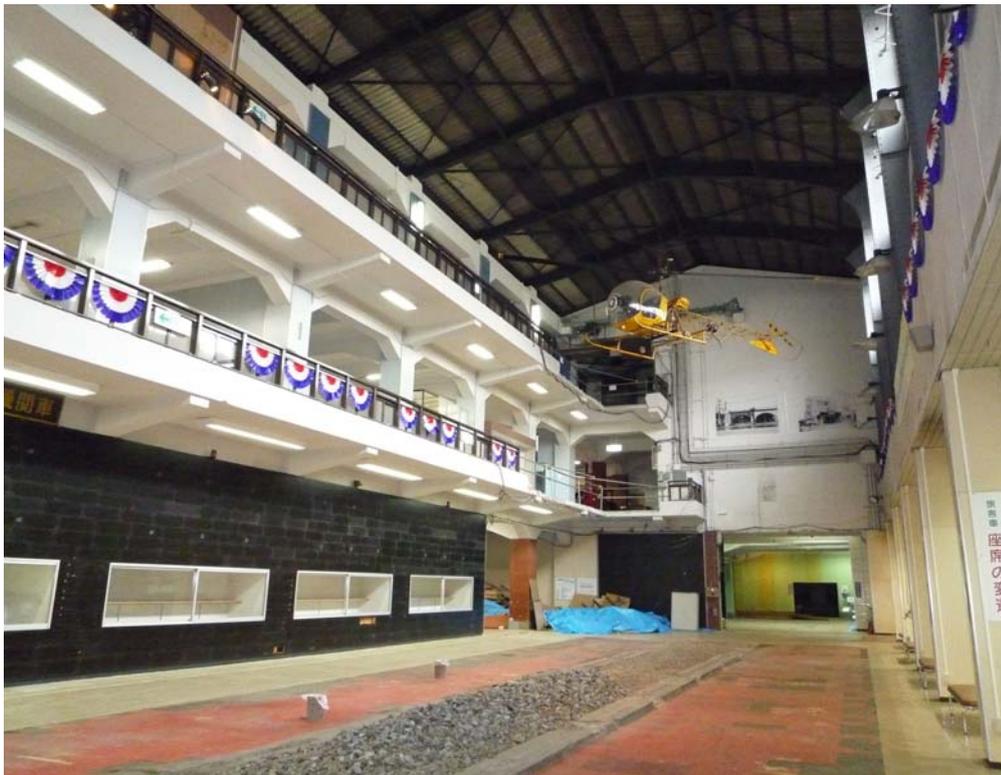
保存車両 明治31年ペーパーピーコック社（英国）製蒸気機関車2両大正13年日本車輛(株)製
木造2軸ボギー電動客車と東武鉄道ジャンルの車輛9両を展示
（部分保存を含む）

リニューアル時に車輛2両を追加展示する予定

施設概要 鉄道から学ぶ体験型博物館 車輪を回転させ汽笛を鳴らすSLショー

約120両模型電車走り東武鉄道一日を紹介するパノラマショーを見学できる200インチの大画面を使用し、運
転室を再現した大型シミュレータや模型電車の運転体験できるコーナーのほかポイント切替やパンタグラフの機器を作動
することも、高架下や立地を活かして営業線を走る電車を間近に
観察できるコーナーもあります





交通博物館近況

C57と9850が鎮座していた機関車ホール。天井に吊されていたアンリ・ファルマン機は航空自衛隊入間基地に引き取られ、ヘリコプターも引越の日を待っています。さる7月15日、岩手・宮城内陸地震（6月14日）の犠牲となった故岸由一郎君を悼む友人150名が集まり、このホールで偲ぶ会を開きました。

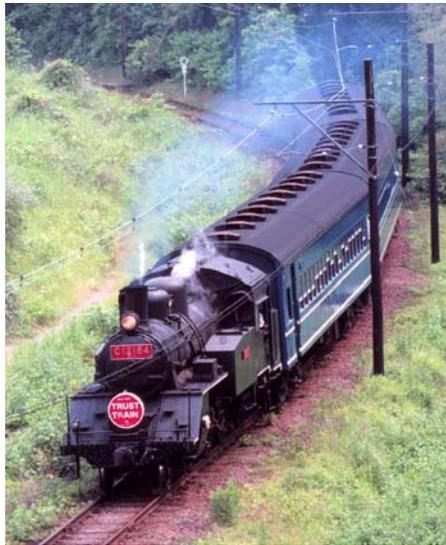


2006年5月、交通博物館最後の盛況

財団法人交通文化振興財団は、JR 東日本と JR 西日本の委託を受けて、引き続き青梅鉄道公園、交通科学博物館（大阪）、梅小路蒸気機関車館（京都）の運営に当たっています。

交通博物館なきあとの活動について模索中。引き続きご支援のほどお願い申し上げます

団体名	財団法人 日本ナショナルトラスト	〒113-0024 東京都文京区西片二丁目 18 番 16 号 TEL : 03 (6303) 1110 FAX : 03 (3818) 1165
-----	---------------------	---



○2008年「トラストトレイン」運転日

4月19日・5月31日・6月21日・7月5日

8月30日・9月6日・10月4日・12月6日

いずれも土曜日に運転

* 8月30日は「SL保存親子ボランティア」を開催

〔区間〕 大井川鐵道 金谷—千頭間 (39.5km)

〔運賃〕 金谷—千頭 (片道 2,370 円・SL 急行料金含む)

〔保有車両の編成〕

スハフ 43 形 2・3 号客車、オハニ 36 形 7 号荷物合造客車

〔運行時間〕

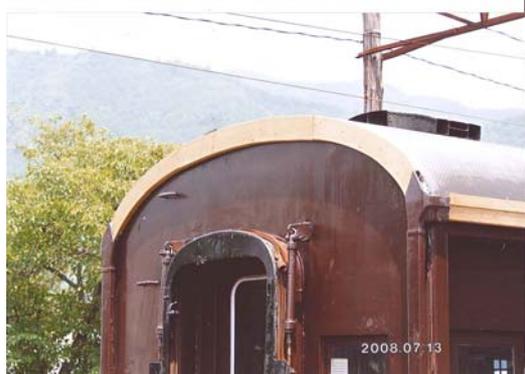
金谷駅 11:48 発→千頭駅 13:12 着

千頭駅 15:23 発→新金谷駅 16:46 着

【近況報告】平成 19~20 年度のトラストトレインの運転、他

昨年、20周年を迎えることができたトラストトレインでは、今年も年に8回の運転が続いている客車の劣化が問題となっています。特に重要な箇所であり、このままでは運行にも支障がでる危険性がありましたので、緊急に屋根を押さえている「押縁（おしぶち）」の取替工事を大井川鐵道にご協力いただき、スハフ43 2・3号客車、オハニ367号客車の3両ともを対象に実施しました。同時に4月から順番に客車の定期検査を実施しており、軽微な修繕も大井川鐵道のご厚意により行っていただいています。

現在は、客車の外回り部分である外板（がいはん）の塗装の劣化が激しく、ペンキが剥げ腐食が進みつつある状況ですので、トラストトレイン募金をもとに応急修理を実施するべく準備を行っております。また、そのためにトラストトレインバッジやオリジナルうちわなどの募金グッズを制作し、維持修復資金を募っております。



市民参加により動態保存されているこの貴重なトラストトレインを末永く維持管理するために、今後も皆様の温かいご支援をお願いいたします。

■上松町

赤 沢 森 林 鉄 道

〒399-5603

長野県木曾郡上松町駅前通り2-13 上松町役場内

TEL 0264-52-2001 FAX 0264-52-1038

<http://www.avis.ne.jp/~hinoki/>

E-mail:hinoki@avis.ne.jp



2008年、赤沢森林鉄道は、
次の日程で運行されています。

■ 2008年運行日程

4月26日～11月3日までの土曜・日曜・祝日運行
うち、下記の日程で連日運行があります。

GW 4月26日～5月6日

夏休み期間 7月19日～8月31日

紅葉シーズン 10月4日～11月3日

■ 運行時刻 土曜・日曜・祝日 9:30～15:30の30分毎に1便運行

※夏期イベント期間中(8月2日～8月17日)は、9:00発の便が追加されます。

※紅葉シーズンの平日は、10:00～15:00までの1時間毎に1便運行

■ 乗車料金 (15名以上は団体・各100円割引)

大人(中学生以上) 800円 4歳～小学生 500円

※夏期イベント期間(8月2日～8月17日)は、イベント参加料金となります。

大人(中学生以上) 1,000円 4歳～小学生 700円

■ 運行区間 森林鉄道記念館前～丸山渡停車駅 往復2.2kmを25分で運行

【2008年の近況】

昨シーズンに引き続き、今シーズンも夏イベント期間は、天候に大変恵まれ多くのお客様を乗せて運行することができました。

また、今年は原油高等の影響によりお客様の減少を懸念しておりましたが、NHKで赤沢自然休養林の放送をいただいたため、現在のところ平年並みのご乗車が期待できております。

今年も秋の紅葉シーズンには、森林鉄道を連日運行いたします。

多くのお客様のご乗車をお待ちしております。



団体名	財団法人	〒410-2416
	伊豆市振興公社	静岡県伊豆市修善寺4279-3
	修善寺虹の郷	Tel 0558-72-7222 Fax0558-72-7133



NORTHERN ROCK II ・ CUMBRIA 重連

保有車両

蒸気機関車 4両

ERNEST W TWINING	2-C-1	1949年製造
NORTHERN ROCK II	1-C-1	1989年製造
CUMBRIA	1-C-1	1992年製造
C-11 (金沢工業大学より貸与された)	1-C-2	1996年製造

ディーゼル機関車 2両

JOHN SOUTHLAND II	B-B	1988年製造
CITY OF BIRMINGHAM	0-C-0	1992年製造

客車

普通客車	(乗車定員 20名)	13両
オープン客車	(乗車定員 20名)	2両
車椅子用客車	(乗車定員 車椅子4台)	3両

軌道延長 本線 2,315M 引き込み線・待避線 700M

付帯設備 転車台 1基

建物 駅舎 2棟 機関庫 1棟

[近況報告]

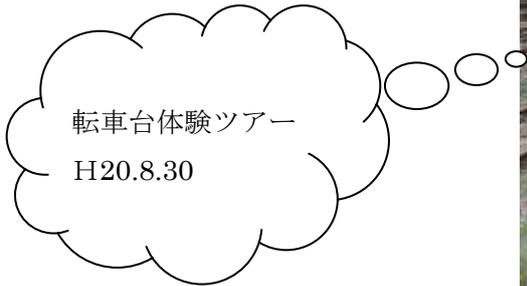
2007年	11月	客車外装修理 FRP板に交換
	12月	カンブリア塗裝修繕
2008年	1月	客車車輪フランジ肉盛整形
	2月	蒸気機関車ボイラー性能検査
	3月	ノーザンロックII 塗裝修繕
	8月	軟水器電磁弁交換

ホームページ <http://www.nijinosato.com/>

団体名	大井川鐵道株式会社	〒428-8503 静岡県島田市金谷 1112 番地の 2 TEL0547-45-4111 FAX0547-45-4115
-----	-----------	---



懐かしの昭和ツアー
H20.7.19～20



転車台体験ツアー
H20.8.30



◎大井川鐵道株式会社 金谷～千頭間（大井川本線）千頭～井川間（井川線・南アルプスあぶとライン）

運転車両：蒸気機関車 C108号・C11190号・C11227号・C5644号
C12164号（日本ナショナルトラスト所有）※C12164は現在休車中
電車 元近鉄16000系・元南海21000系・元京阪3000系

SL列車運転区間 大井川本線 金谷～千頭間
SL列車運転期間 原則として通年運転。ただし、12月から3月中旬の火・木曜日は
運休（平成20年度）

※大井川鐵道田野口駅は、平成19年度第20回静岡県都市景観賞の「ふるさとしずおか部門」
において、最優秀賞（静岡県知事賞）を受賞した。

※大井川鐵道公式ホームページでは、車両の紹介をはじめ、各種割引乗車券、イベントの情報
等をご案内しております。

ホームページ <http://www//oigawa-railway.co.jp>

団体名 東海旅客鉄道株式会社

〒450-8520 名古屋市中村区名駅一丁目3番4号
東海鉄道事業本部 車両部 管理課
Tel.052-564-2461 FAX052-564-2462

佐久間レールパーク展示車両今年も修繕実施

当社の飯田線中部天竜駅に隣接した「佐久間レールパーク」には、16両の車両を常設展示しております。6年前からは車内及び屋根周りの修繕を実施し、昨年度は、スハ734-834、オロネ10-27、スニ30-95の3両について実施しました。また、今年度はモハ52004、キハ181-1、オハ35206、キハ48036の4両について修繕実施、計画中です。

【モハ52004】 外板・屋根上及び外板全塗装・客室内修繕



【キハ181-1】 外板塗裝修繕



博物館明治村

近況報告

蒸気機関車12号・9号

5月に9号の火格子交換

8月に12号の軸バネ折損（現在仮復旧中）

ハフ11・13・14

2月にハフ14の塗装工事を実施

8月にハフ11の軸バネ不良箇所が見つかり休車

京都市電

毎月1回、名古屋鉄道（株）車両部による車輛点検を実施

半年1回、（株）メイエレックによる電気設備点検を実施

半年1回、矢作建設（株）による軌道点検整備を実施

年1回、車両塗装を実施

実績と今後の予定

平成20年3月8日から7月31日まで春の催事「明治探険隊3」を開催、期間中イベントとして、「SLバックヤードツアー」を開催しました。

3月20日（木）・4月5日（土）・5月17日（土）・6月21日（土）・6月22日（日）・7月5日（土）・7月27日（日）の計7回開催（内1回は企業リクリエーション向け）。SLの往復乗車と給水作業や車庫など普段は見られないSL運行の裏側を説明を加えながら、分かり易く説明しました。

対象は、小中学生および保護者（2名まで同伴可）小学3年生以下の方は保護者の同伴が必要。参加料はお一人500円（入材料は別途必要）

平成20年3月31日・8月19日・8月26日に体験型企画として、体験キャンプを実施しました。

これは、小学生向けに観光旅行会社が企画し、初日は同じ犬山市内にある日本モンキーパークに行き、2日目に明治村にて開村前にSLバックヤードツアーを実施しました。

今後の予定としましては、SLの軸バネの本復旧とハフ11の軸バネ交換を優先する為、イベントは来年春催事まで実施の予定はありません。



団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒530-8341 大阪市北区芝田2-4-24 TEL06-6375-8513
-----	-------------	---

○「交通科学博物館」を一部リニューアルしました

本年3月18日、交通科学博物館（大阪市港区）の第5室、第6室展示室をリニューアルしました。現在の展示室は、「鉄道の歴史・文化、技術・科学を人々に分かりやすく伝える」という運営理念の下、「鉄道のあゆみ」「鉄道の施設としごと」などをテーマにした7室構成としています。この度、第5室では、保線などの作業現場を情景展示し、タッチパネルの操作によりインタビュー形式で最新の保線技術やそれらに関わる技術者の仕事を解りやすく映像で紹介する「線路を守る人々のしごと」のコーナーを新設するなど鉄道の施設や仕事を解りやすく解説しています。また、6室では、「鉄道の旅の移り変わり」や「鉄道と文化」、関西の私鉄も紹介した「大阪を中心とした鉄道の発展」など各コーナーの装いを新たにしています。



第5室



第6室

○「0系新幹線車両(21-1、16-1、35-1、22-1)」を鉄道記念物に指定

0系新幹線の本年11月末の引退にあわせて、10月14日に交通科学博物館に保存・展示している0系新幹線車両第1号車4両を鉄道記念物に指定します。



0系新幹線車両 (21-1)



普通車 (21-1)



グリーン車 (16-1)



ビュフェ車 (35-1)

ACCESS



●三岐鉄道三岐線で近鉄富田駅より最速31分、丹生川駅下車
 ※三岐線のJR富田～大矢知間は貨物列車のみの運行です。JR富田駅から近鉄富田駅は徒歩約10分です。

貨物鉄道の歴史を 感じてみませんか



正岡イラスト:横溝英一

ご利用案内

- 開館時間／午前10:00～午後4:00
- 入館料／無料
- 開館日／毎月第1日曜日(1月のみ第2日曜日)
(その他、臨時に開館することがあります)

ご寄付のお願い

当館は、皆様からのご寄付により運営しております。
 皆様からの、温かいご支援をお待ち致しております。
 1口1,000円からお受けしております。

郵便振替口座 00970-8-179686 貨物鉄道博物館

⚠ 展示車輛に上ることは大変危険ですからおやめください。
 万一おケガをされた場合でも、当館は責任を負えません
 ので、十分ご注意ください。



三重県いなべ市大安町 三岐鉄道三岐線丹生川駅前
 事務局: 〒510-8014 三重県四日市市富田3丁目22-83 三岐鉄道株式会社内
 TEL 059-364-2141 / E-mail frm_office@yahoo.co.jp

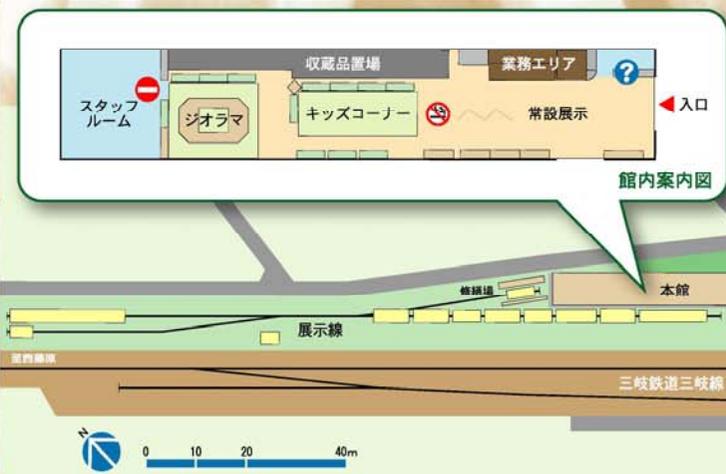
<http://frm.kans.jp/>

貨物鉄道博物館のあらまし

日本の経済発展を支えてきた、鉄道による貨物輸送が、1873(明治6)年9月15日に始まって以来、2003(平成15)年に130周年を迎えるのを記念して、初めての貨物鉄道を専門とする博物館として当館は開館しました。

主要な展示物であるさまざまな種類の実物貨車は、全国の鉄道事業者や企業・個人からの寄贈や貸与によるもので、現存する最古級の貴重な車輛が勢揃いしています。

当館は、一般からの寄付とボランティアにより運営されております。皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



収蔵車

※ 収蔵車輛の一部を掲載



団体名



加悦SL広場

カヤ興産株式会社

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2

TEL 0772-42-3186 FAX 0772-43-0080

URL <http://www.kyt-net.ne.jp/kayasliroba/>

【近況報告】

■ KD-4(カトーくん)ディーゼル機関車 NPO法人加悦鐵道保存会の協力のもと動態化・修復完了
平成20年9月23日 お披露目記念式典を開催

■ 南海モハ1202、ポーター103、C57189、C58390 ケレン・塗装 実施

■ 京都市電N5号 修復中（外装・全般）

■ 4号蒸気機関車 修復中（外装・全般）



京都市電N5号



KD-4(カトーくん)



4号蒸気機関車



C58390

C57189



モハ1202



103号

■ 平成19年11月「SL広場周年祭」平成20年5月「初夏の加悦鐵道まつり」を開催

■ 平成20年度「SL広場周年祭」平成20年11月2日(日)～3日(月) 開催予定(仮)

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 加悦鐵道保存会</p>	<p>〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941番地の2 加悦SL広場内 電話 0725-20-3811(森本方)</p>
------------	-------------------------------------	---

最近の動き

<加藤製作所昭和28年製内燃機関車の動態復元> 前会長の笹田昌宏が岡山の業者より譲受し、SL広場で展示していた6.5t機関車(形式KD-4)を動態復元しました。本車は加悦鐵道遺産ではありませんが、小型機故の取り組み易さを重視し、会員の整備技術向上につながる「教材」として復元に取り組むことになったものです。

作業に際しては、加悦鐵道OBと国鉄～北近畿タンゴ鐵道OBの技術指導を大いに受けることが出来、従事した会員は、その腕に相当な自信を付けることが出来たと思います。

この原稿執筆後となりますが、9月23日には復元完成のお披露目式典と運転会が予定されています。



<4号蒸気機関車の整備続行> 上記KD-4形の整備でしばらく作業が止まっていましたが、引き続き次年度の完工を目標に取り組みます。

<KTR野田川駅整備事業への協力> 北近畿タンゴ鐵道野田川駅待合室に併設して、「丹後山田駅資料室」が開設されました。本会では昨年12月から本年6月までの間に、丹後山田駅ゆかりの品々や同駅の昭和50年ごろの姿を再現した模型ジオラマなどを整備し搬入しましたが、駅利用者からはたいへん好評を持って迎え入れられました。



<その他の活動> 3月：キハ101形等の機関オイル交換講習会。4月：通常総会。5月：「初夏の加悦鐵道まつり」。8月：京都府による丹後地域NPO交流会の場で実践発表。5月から9月にかけては通票閉塞器や腕木式信号機などを整備し旧加悦駅舎へ展示、といった事業に取り組みました。この後、10月：与謝野町観光協会と共同で「ちりめん街道まるごとミュージアム」出展参加。11月：加悦SL広場周年祭を開催する予定があります。

今後の予定

平成19年2月下旬から入場修理を続けている、大正11(1922)年川崎造船製造の4号機関車(元河東鐵道、国鉄1250形同型)の外観整備を、カヤ興産と共に進めて参ります。

本会的前身である「加悦SL広場友の会」発足のきっかけとなった「私たちにできること」を重視した活動に立ち返り、大きな事業だけではなく、軽微な補修箇所早期発見と手当てといったような、小さなことにも目と手が行き届く活動を目指します。

連絡等

郵便物等は次のところへお送りください。〒595-0071 大阪府泉大津市助松町3-1-31-508 森本 寿 方
なお、電子メールアドレスは npo-kayatetsu@almond.ocn.ne.jp です。

ふるさと鉄道保存協会

連絡先：福岡市博多区博多駅東3丁目 11-12-201(株)ワンマイル内 手嶋康人

ふるさと鉄道保存協会は、全国各地の課題ごとに地域に根ざした W.G. (Working Group) を組織し、会員が様々な活動を展開しています。事業資金は主に会員からの会費や寄付金で賄っていますが、市民ボランティアによる活動が主軸となっています。

- **鉄道郵便 W.G.** リーダー／中井 健二

のと鉄道（石川県）能登中島駅構内で保存されている郵便車「オユ 10 形式」を所有し、塗装や腐食箇所の補修などの維持管理を行うと共に、春・秋には「鉄道郵便車フェスティバル」を開催しています。

- **天竜二俣キハ 20 修復 W.G. (天竜レトロ・トレインクラブ)** リーダー／山崎 義和

天竜浜名湖鉄道（静岡県）天竜二俣駅の隣接地で保存されている国鉄二俣線の気動車「キハ 20 形式」と、寝台車「ナハネ 20 形式」の修復を行っています。

今年はナハネ 20 の修復を終えてイベントを行いました。

- **ワフ 30037 伊賀 W.G.** リーダー／中盛 汀

近鉄伊賀線の活性化に、近鉄・県・市・他団体と協働で取り組む「伊賀線協働塾」を開催しています。

- **ヨ 9001 W.G.** リーダー／浜中 裕史

2002 年に福岡県田川郡赤村の自然学習村源じいの森へ車掌車「ヨ 9000 形式」を寄贈し、保守管理を行っています。

これからの予定

「鉄道郵便車フェスティバル2008オータム ～動け！郵便車！～」

1 開催日時 平成 20 年 9 月 20 日(土)、21 日(日) 午前 10 時から午後 4 時まで

2 開催場所 のと鉄道七尾線 能登中島駅

～動け！郵便車！～

両日の午後 1 時 15 分に移動して写真撮影会を実施し、午後 2 時 00 分に元の位置に戻します。

その間は車内見学ができません。また、動かせない場合もあります。





4月12日(土)
若桜中学校さくらホール
14:00~17:30

日本の知が集うフォーラム
みんなの宝・若桜鉄道

●14:00~14:20 あいさつ

総合司会: 小山富見男

若桜町長 小林昌司 氏
国土交通省鉄道局長 大口清一 氏
鳥取県知事 平井伸治 氏
鳥取市長 竹内 功 氏
鳥取県議会議長 山根英明 氏

●14:30~15:30

記念講演 地方鉄道の復権をめざして
東京学芸大学名誉教授 青木栄一 氏

●16:00~17:30

パネルディスカッション 地域遺産を生かしたまちづくり
パネラー 日本鉄道保存協会顧問 米山淳一 氏
筑波大学教授 安藤邦廣 氏
国土交通省国土技術政策総合研究所 小林英之 氏
八頭町長 平木 誠 氏
若桜町長 小林昌司 氏

コーディネーター

NPO市民文化財ネットワーク鳥取理事長 渡辺一正 氏

7月23日付け官報告示により、若桜鉄道の23施設が登録文化財になりました。
「若桜線SL遺産保存会」では第1回定例活動として、10月5日(日)に
因幡船岡駅の清掃活動を行います。今後も若桜鉄道の保存活動を進める方針です。

団体名	中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 (平成17年12月設立)
役員	会長 清岡 博基 (他 副会長4名 監事1名)
会員	25名 (平成20年3月31日現在)
事務局	〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443 馬路村教育委員会内 TEL: 0887-44-2216 FAX: 0887-42-1010
活動の目的	高知県中芸地区に残る森林鉄道の遺産を保存及び活用する活動を通じて中芸の地域づくりを行い、地域社会の発展及び文化の向上に寄与することを目的とする。
活動の内容	(1) 森林鉄道遺産を国の重要文化財に登録する活動 (2) 森林鉄道遺産を利用した地域づくり活動 (3) 森林鉄道遺産の調査及び情報発信 (4) 講習会及び研修会の企画・開催 (5) ボランティアガイドの養成 (6) その他
財政規模	平成19年度決算額 3,261 千円 平成20年度予算額 8,198 千円

団体名	山口線SL運行対策協議会	連絡先 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1(山口県観光交流課内) TEL:083-933-3170 FAX:083-933-3179 E-mail:c571@c571.jp
-----	--------------	--



SLやまぐちDC号

●「おいでませ山口デスティネーションキャンペーン」を開催
 山口県では、7月から9月までの3ヶ月間、JR6社と協働して「おいでませ山口デスティネーションキャンペーン」を開催しました。

キャンペーン期間中は、「貴婦人」の愛称でお馴染みのC57機関車のSL「やまぐち号」に加え、「ポニー」の愛称で親しまれるC56機関車がSL「やまぐちDC号」として運行されました。特に、8月1日～3日の3日間は、C57機関車とC56機関車の重連運転に「サロンカーなにわ」を牽引しSL「やまぐちDX号」として、多くの鉄道ファンを魅了しました。

●SL「やまぐち号」スタートイベント

2008年の運行開始に合わせ、3月22日(土)に、2008SLやまぐち号出発式を開催しました。記念撮影用の顔出しパネルを駅構内に設置し、SL車内で記念イベントを開催しました。



サロンカーなにわ車内

●SL「やまぐち号」復活29周年記念イベント

SL「やまぐち号」が、昭和54年8月1日から運転を再開したことを記念して、8月1日に記念セレモニーを開催しました。

一日こども駅長と一日こども車掌を公募し、抽選で2名の小学生が選ばれました。一日駅長に出発合図を一日車掌には車内改札等の車内業務を行っていただきました。

デスティネーションキャンペーンを受け、復活記念日から3日間は、SL「やまぐちDX号」として運行し、沿線には多くの鉄道ファンが集まりました。



SLやまぐちDX号



記念セレモニー(テープカット)



一日駅長出発合図



一日車掌車内業務

●沿線市町PRデー

各沿線市町にも協力してもらい、8月9日に津和野町、8月16日に阿東町、8月23日に山口市に「沿線市町PRデー」として、各自治体が趣向を凝らしたイベントを開催しました。この3日間は、山口大学の学生の皆さんにも協力してもらい、沿線市町の観光PRを行いました。山口市PRデーでは、途中の湯田温泉駅で旅館の女将さんや仲居さんにお出迎えをしていただきました。

●今後の活動

来年は、山口線にSLが復活してから「30周年」という節目の年を迎えます。当協議会でも、乗客の皆様に喜んでいただけるよう、様々なイベントを企画していきたいと考えております。



C571

C56160

URL:<http://www.c571.jp>

団体名	九州旅客鉄道株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21 TEL 092-474-2541 Fax 092-474-3898
-----	------------	--

鉄道の祭典in九州鉄道記念館



“鉄道の祭典”は「鉄道の日」と「九州鉄道記念館の開館5周年」を祝うイベントとして企画されました。目玉は、長きに亘って活躍しているキハ28・58を臨時列車で運行する「キハ28・58で行く九州鉄道記念館の旅」。オリジナルヘッドマークをつけて、鹿児島本線、筑豊本線、後藤寺線、日田彦山線を走ります。途中、下鴨生駅では、一時停車して、記念撮影会も行います。ゲストに、鉄道アイドルでおなじみの「木村裕子」が乗車。10月下旬、テレビでもこの旅の様子が放送されます。またこのほか、九州鉄道記念館内では1/5サイズのミニSL運行のほか、内容盛り沢山のイベントを準備。“鉄道の祭典”を通じて、一人でも多くの方に鉄道の魅力を伝えられたら、と願っています。

期日：10月11日（土）～13日（月）

内容：ウルトラ鉄道クイズ「鉄道王」決定戦、SL「C591」運転席の見学・鉄道講座「駅長物語」
列車グッズ販売 など

九州鉄道記念館：北九州市門司区清滝 2-3-29（最寄駅：門司港駅）

TEL：093-322-1006/FAX：093-332-7233 ホームページ <http://www.k-rhm.jp>

JR九州・58654号機 平成21年復活にむけて、台枠の搬入・仮合わせ

2009年夏、熊本～人吉間での運航開始を目指し、修復作業が進められているSL（58654号）の新しい台枠が完成。去る6月27日にJR九州小倉工場に搬入されました。台枠は、当時の設計図や現物の寸法を元に車両メーカーが製作し、全長約10メートル、幅約2.5メートル、重さ4トン。改修したボイラーと台枠の仮合わせが行われ、双方がぴったり合致することを確認しました。



台枠をボイラーに借合わせしている様子。台枠は、SLのいわば背骨であり、車両を安定させるために大変重要な部分。台枠とボイラーの間は少しのずれも許されないため、慎重に作業が進められました。

団体名	鹿児島県屋久島町	〒 8 9 1 - 4 2 0 7 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 469-45 屋久島町役場企画調整課 TEL 0997-43-5900 FAX 0997-43-5905
-----	----------	--

【 屋久島林用鉄道 】・・・動く環境教育・・・

屋久島（安房）森林軌道は、歴史的に屋久島森林開発の軌跡であり、唯一国内に現存する林用鉄道です。

1923年（大正12年）の開設以来、屋久杉搬出の花形として、また、小杉谷・石塚集落に暮らす人々の生活の足としても活躍してきました。

現在は、利用頻度は減少したとはいえ、屋久島の産業史を知るうえからも文化的価値の高い地域資源です。

また、海岸部から標高1,000mまでに至るこの森林軌道は、標高差による植物の変化を理解するうえでも貴重なもので、特に荒川分岐点までの10km余りは、温帯の最も南にある屋久島の照葉樹林を知ることができます。

このように人と自然との関係や、屋久島の植生の特徴を理解するうえで、貴重な資源である軌道を後世まで動態保存して、このエリアを広義の『環境教育』の場としてとらえ『動く環境教室』の舞台として利活用できるよう、今後も事業を展開していくことにしていますが、人を乗せて運ぶためにクリアしなければならない問題も多々あり、なかなか先に進むことができない状況です。



大畑線キハ 8 5 動態保存会の概要

大畑線キハ 85 動態保存会は、当初、JAS(日本エアシステム：現在「日本航空インターナショナル」) 関連会社の社員（ほとんどが機長）で構成し、鉄道模型を作ったり、鉄道旅行等を通して会員の親睦を図っている程度の活動でありました。

しかし、私達は、昨今のあまりにもものの古き良き鉄道文化遺産が消滅していくのを見過ごすことができず、何らかの形でどこかの車両を動態保存が出来ないかと模索してまいりました。

そこで、このたび 2001.3..31 をもって廃止になった下北交通大畑線が、

- 1.旧国鉄のキハ 22 を使用していたこと。(キハ 22 にとって最後の動態保存となる。)
- 2.鉄道施設が完璧に近い形で残っている。(車庫や線路)
- 3.昭和 3 0 年～ 4 0 年代の古き良き鉄道風景が残っている。

等の理由があり、是非とも動態保存を行ないたい旨を書簡で申し入れを行ないました。

そこで、数回の下北交通とのやり取りのなか、下北交通白濱社長のご英断により 2001.11.1 をもって正式に動態保存が実現いたしました。

私達は、この話しが、全国の鉄道愛好家や賛同いただける方々に知れ渡り、お互いの共同作業によってこの鉄道文化遺産を末永く、後世に受け継いでいく必要性を今まさに痛感しております。現在会員数 27 名の会員で運営しており、現役の気動車運転手も我々の仲間となり、運転技法についても本職に近い形になりつつあります。

この企画が、単なる、鉄道マニアのお遊びではなく、今後は、下北半島の発展の一助となれば光栄です。

尚、大畑町の鉄道公園化計画が白紙撤回となりましたが、その後、現在の土地・施設所有会社「株式会社柏翠」様のご好意により今後も動態保存を続けてきました。その後 NPO 法人 GEMBU の傘下となり活動を続けています。

また、キハ 2 2 1 5 1 内に HO ゲージ鉄道模型レイアウトを設置して、定期運転会時に公開しています。花輪線「新屋新町」駅と八戸線にあった腕木式信号機を設置し、駅から信号を転換できるようになりました。

ヨ 8 0 0 0 を JR 東日本から購入して動態保存しています。

その後、JR 貨物から構内入れ替え用 DL 機関車を購入して、ヨ 8 0 0 0 を牽引したり、キハ 2 2 のエンスト時の緊急入れ替え用として活躍させております。

以上

南部縦貫レールバス愛好会

南部縦貫レールバス愛好会とは平成9年休止、平成14年に廃止になった南部縦貫鉄道の車両の保存を目的とした団体です。

南部縦貫鉄道は青森県の JR 東北本線野辺地駅から七戸町を結ぶ 20.9km の鉄道でした。

車両は富士重工製のレールバスというバスの部品を流用した小型の鉄道車両を用いて輸送しておりました。

この他に旧国鉄から譲り受けたキハ 10 系気動車キハ 104、機関車 D451 と DC251 の 2 両、除雪用機関車 DB11 が保存されております。

このうち、動態保存されているのはレールバスキハ 101・102 の 2 両とキハ 104 気動車、DB11 の 4 両です。



体験乗車イベントを開催

毎年5月の大型連休期間中に「レールバスとあそぼう」と銘打ったレールバスの走行シーンの撮影、体験乗車ができるイベントを開催し、毎回のべ3000人を超える方々にご来場いただいております。体験乗車は2004年から実施し、これまで6回開催してきました。

愛好会のメンバーは首都圏を中心に住んでおり毎月のように七戸へ通い、車両の整備や駅構内の整備を行っています。

愛好会の活動は南部縦貫株式会社との信頼関係で成り立っており、車両と駅構内の保存をしていただいている以外は、資金的な提供は一切受けておりません。また自治体や第三者からの補助金・寄付金も受けておりません。

南部縦貫鉄道グッズを販売

愛好会の活動資金はグッズやイベントでの会員券の販売利益で運営しております。様々なグッズを製作し、鉄道ファンのみならず地元の方にもお求めいただいております。その他、足りない資金は会員のポケットマネーで運営されております。

現在、車両の老朽化による部品の破損などが発生し、一つ一つ直しているのが現状です。交換部品などもあるわけではなく、町工場を回り特注で部品を作ってもらう形での対応をしているのが現状です。今後、どこまで修理が出来るかが一番の不安材料です。



今年11月にイベントやります

現在11月2日(日)にレールバス撮影会イベントを企画しております。お時間のある方は是非お越し下さいませ。13時～18時まで駅構内を公開し、レールバスのデモ走行などを行います。体験乗車は行いません。夕暮れ時にはレールバスをライトアップして夕焼けとレールバスの撮影を出来るように計画しております。

南部縦貫レールバス愛好会の情報は、おがえもん.com内にサイトがありますのでご覧下さい。

<http://www.ogaemon.com/>

お問い合わせは、南部縦貫株式会社内 南部縦貫レールバス愛好会(担当四戸)まで

メール railbus@ogaemon.com 電話 0176-62-2131